

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却方法について

車両運搬具・・・定額法による減価償却を実施している。ただし、平成19年3月31日以前に取得したもののについては、備忘価格（1円）まで5年間で均等償却し、平成19年4月1日以降取得し償却可能限度額まで達したもののについては、備忘価格まで一括償却する。

(2) 引当金の計上基準

退職給付引当金・・・公益法人会計基準の運用方針に基づき、退職給付会計導入時の期末要支給額を一定年数（15年）で按分した額に、前年度期末要支給額と今年度期末要支給額の差額を加算し費用処理している。令和2年度で15年となった。

(3) リース取引の処理方法

通常の賃貸借取引に準じた処理にしている。（オペレーティングリース取引）

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本財産預金	12,000,000	0	0	12,000,000
小 計	12,000,000	0	0	12,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	52,046,176	2,731,000	0	54,777,176
小 計	52,046,176	2,731,000	0	54,777,176
合 計	64,046,176	2,731,000	0	66,777,176

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
基本財産預金	12,000,000	12,000,000	0	0
小 計	12,000,000	12,000,000	0	0
特定資産				
退職給付引当資産	54,777,176	0	0	54,777,176
小 計	54,777,176	0	0	54,777,176
合 計	66,777,176	12,000,000	0	54,777,176

4 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
車両運搬具	1,297,688	1,297,686	2

5 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	当期増加額	当期減少額	当期末 残高	貸借対照表上 の記載区分
豊橋市補助金	豊橋市	60,415,483	60,415,483	0	—

附属明細書

「基本財産及び特定資産の明細」、「引当金の明細」については、財務諸表に対する注記に記載している。